

2025年6月期 第2四半期(中間期)

決算説明資料

前田工織株式会社

東証プライム:7821



目次

1. 2025年6月期 第2四半期(中間期) 決算の概要	3
2. セグメント別決算概要	12
3. 2025年6月期業績予想	17
4. 具体的施策とKPI	23
5. MDKグループ中長期ビジョン グローバルビジョン∞ -PART II-	37
6. 会社概要	42

1

2025年6月期 第2四半期(中間期) 決算の概要

第2四半期(中間期)決算ハイライト

売上高

32,530 百万円

修正後通期計画
進捗率52.5%

粗利益

12,534 百万円

前期比増減率19.8%

営業利益

7,152 百万円

修正後通期計画
進捗率59.6%

EBITDA

8,800 百万円

修正後通期計画
進捗率57.5%

経常利益

7,224 百万円

修正後通期計画
進捗率60.2%

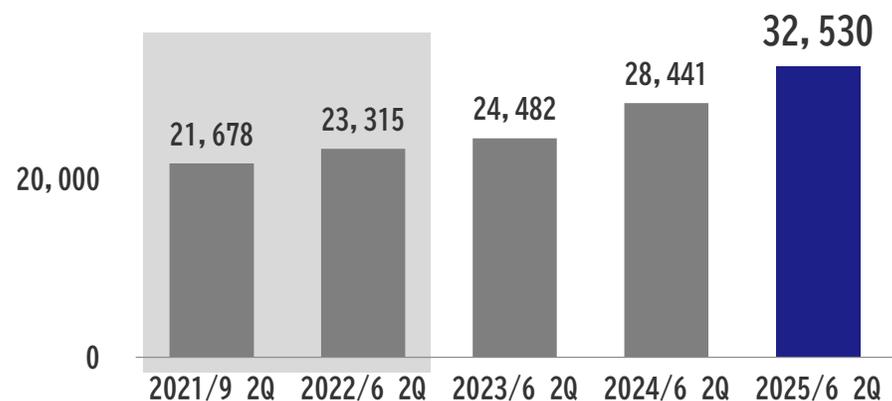
中間純利益

4,939 百万円

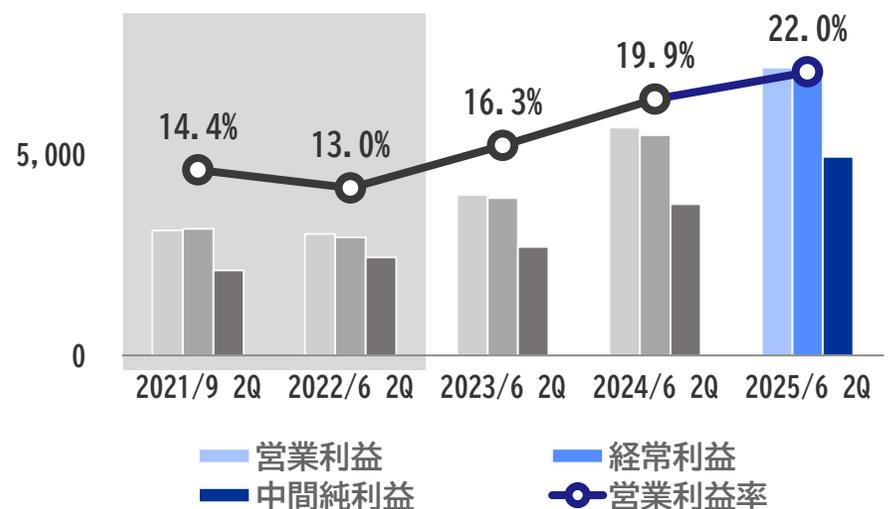
修正後通期計画
進捗率58.8%

連結決算サマリ

売上高



利益

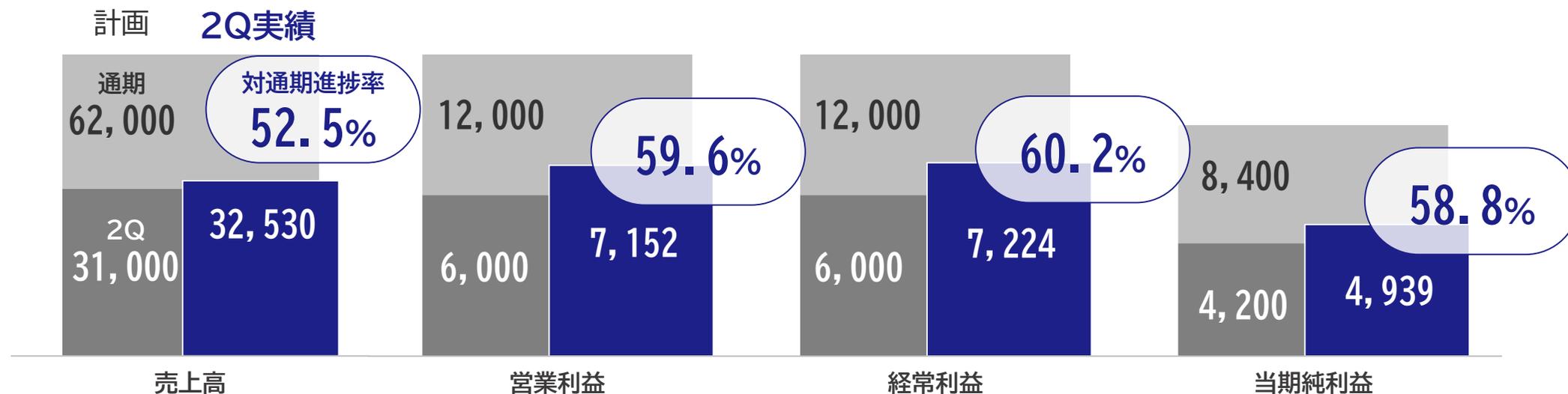


	2024年6月期 2Q		2025年6月期 2Q		
	実績	売上比	実績	売上比	増減率
売上高	28,441	—	32,530	—	14.4%
営業利益	5,661	19.9%	7,152	22.0%	26.3%
E B I T D A	7,234	25.4%	8,800	27.1%	21.7%
減価償却費	1,572	5.5%	1,648	5.1%	4.8%
経常利益	5,473	19.2%	7,224	22.2%	32.0%
親会社株主に帰属する 中間純利益	3,760	13.2%	4,939	15.2%	31.3%



※決算期変更により、2021/9期～2022/6期の第2四半期の業績の期間は12/21～3/20です。

計画と実績値との比較



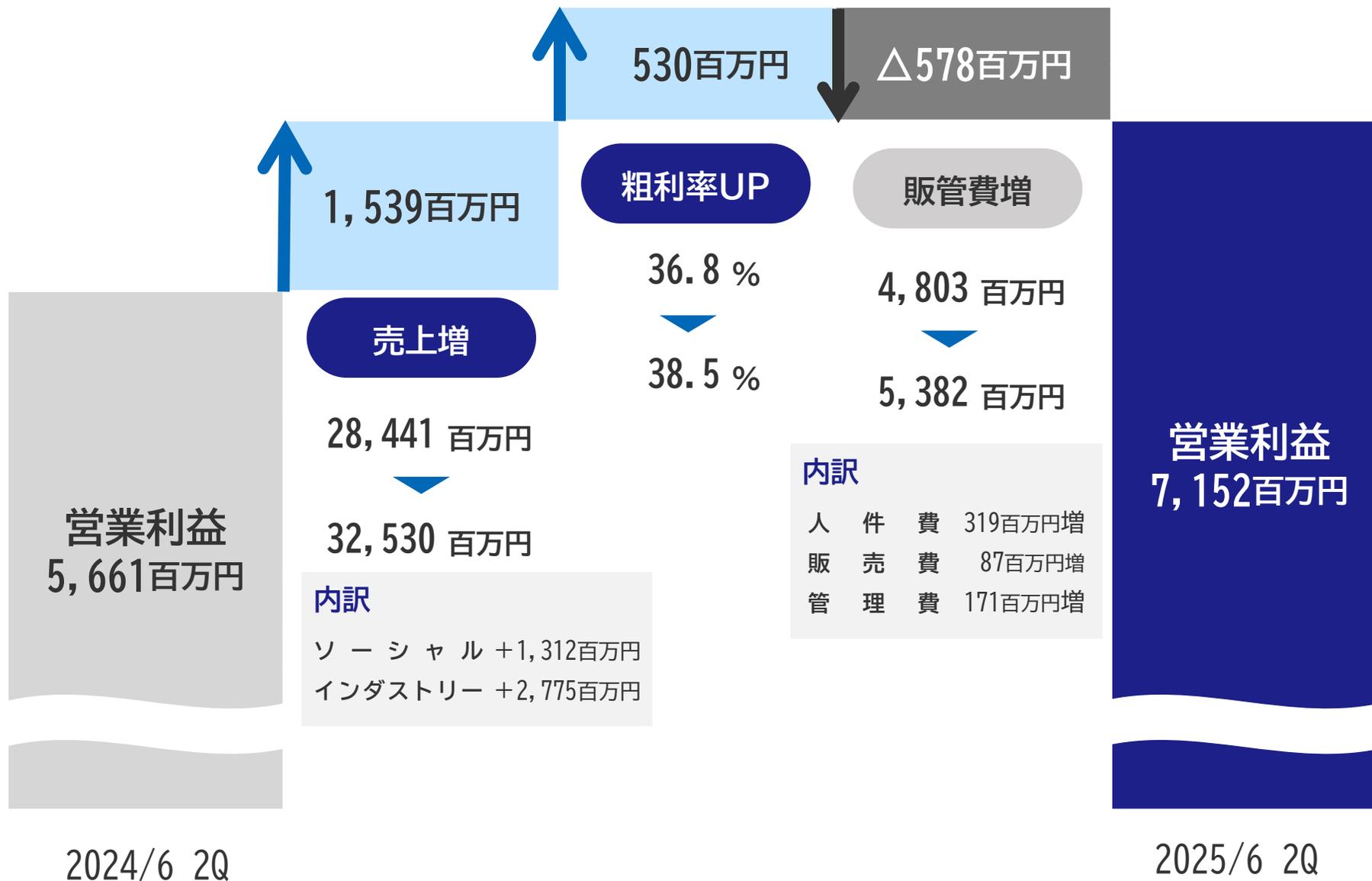
2025年6月期	2Q実績	2Q計画		通期計画※2			
		計画	達成率	修正前計画	修正前進捗率	修正後計画	修正後進捗率
売上高	32,530	31,000	104.9%	60,000	54.2%	62,000	52.5%
営業利益	7,152	6,000	119.2%	11,200	63.9%	12,000	59.6%
EBITDA※1	8,800	7,600	115.8%	14,500	60.7%	15,300	57.5%
経常利益	7,224	6,000	120.4%	11,200	64.5%	12,000	60.2%
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	4,939	4,200	117.6%	7,700	64.2%	8,400	58.8%



※1：EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額

※2：2025年2月14日付で通期計画を上方修正しております。

営業利益の増減要因



財政状態

(単位:百万円)

総資産 80,243百万円

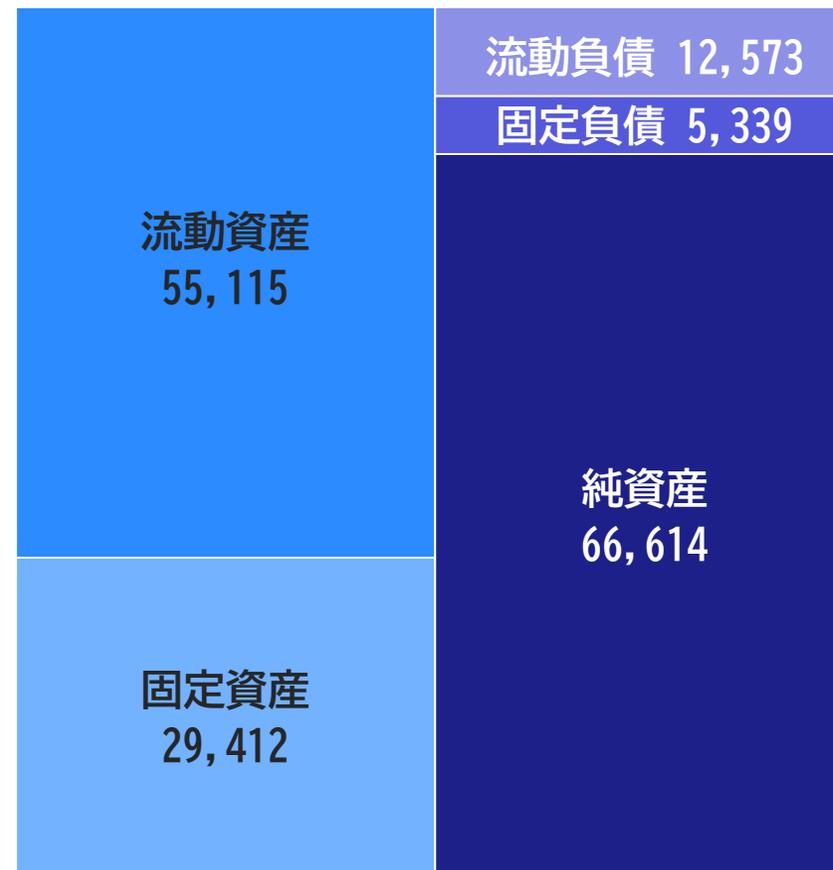


資産

負債・純資産

2024/6 期末

総資産 84,528百万円



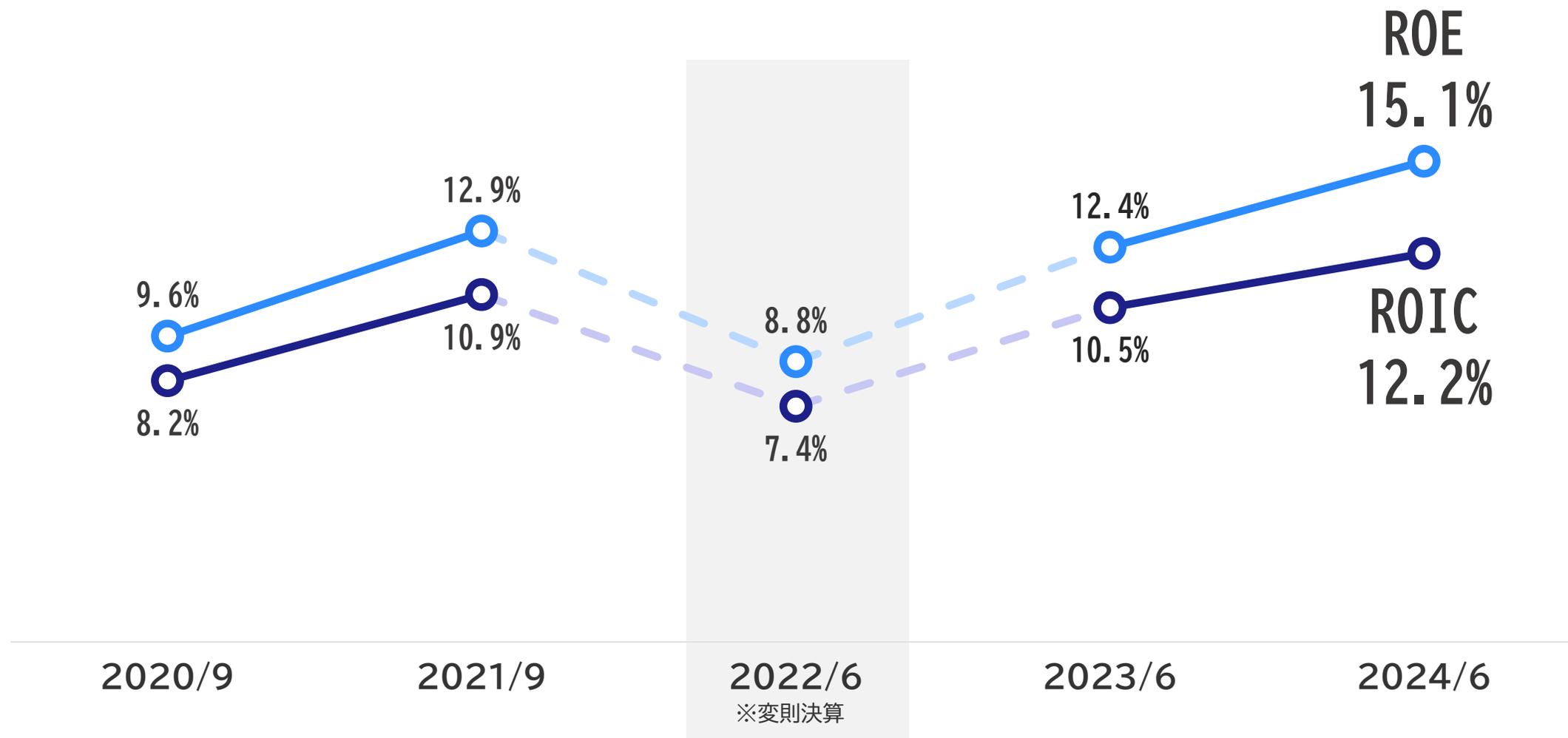
資産

負債・純資産

2025/6 2Q末



経営指標 – ROE・ROIC推移



 ※決算期変更の経過期間となるため、2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。

TOPICS – 犀工房子会社化

2024年12月

株式100%取得

事業内容

幼稚園、保育園用備品、各種遊具等の企画・設計・製造・販売

子会社化のポイント

- デザイン力・安全性を両立した遊具等の企画・設計・製造で幼稚園・保育園向け遊具業界で発展
- 幼児向け絵本の出版社との強固な関係性
→ 景観資材分野に新製品及び販売ルートを獲得
公園分野に進出し新たな市場創出

所在地 滋賀県大津市上田上平野町337-3

設立 1991年4月12日

資本金 2,000万円

従業員 27名



TOPICS – 統合報告書2024発行



当社グループとして4回目の発行
(段階的に内容充実化)

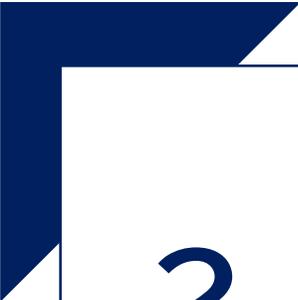
Point

【価値創造ストーリーの根幹の強化】

事業が多角化する中でもコングロマリットプレミアムな成果を出し、成長できる前田工織の価値創造の源泉の解像度を上げる。

統合報告書掲載ページ

<https://www.maedakosen.jp/ir/irlib/report/>



2

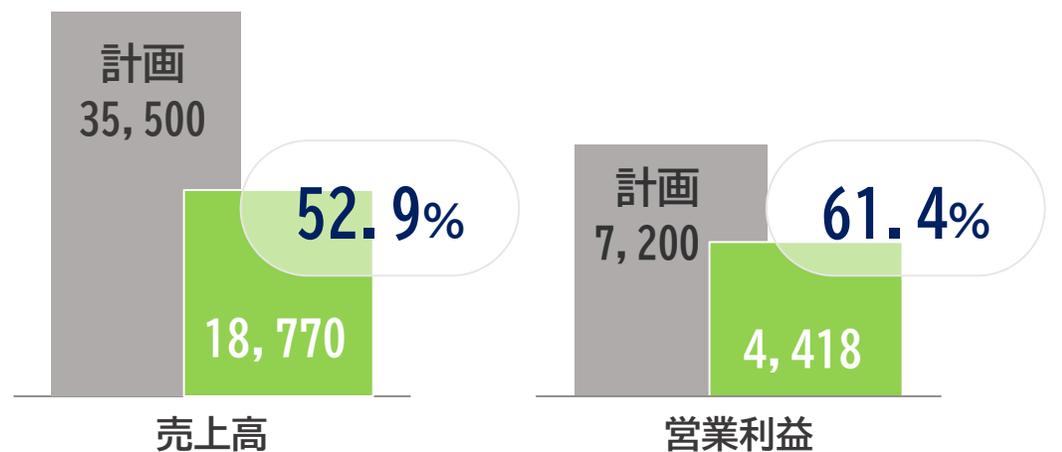
セグメント別決算概要

セグメント別決算概要

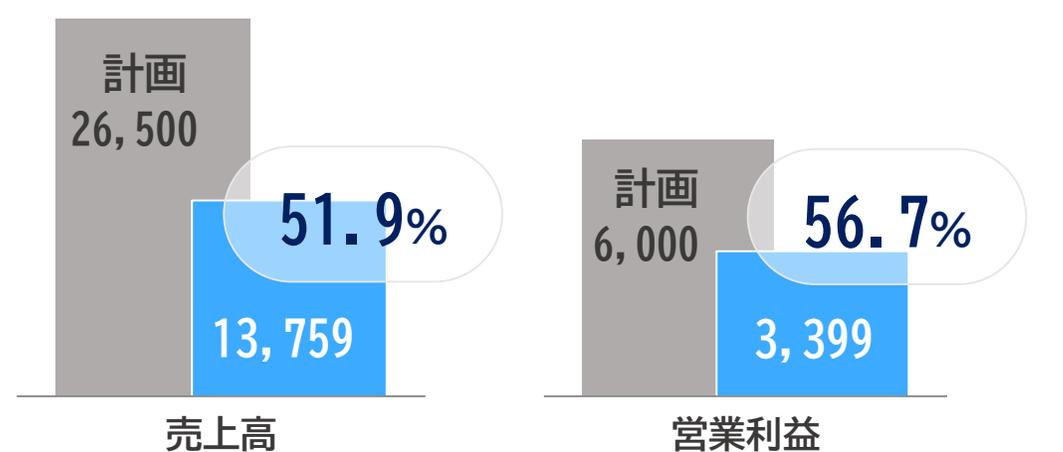
		2024年6月期 2Q 実績			2025年6月期 2Q 実績			
		金額	営業利益率	構成比	金額	営業利益率	構成比	増減率
売上高	ソーシャル インフラ事業	17,458		61.4%	18,770		57.7%	7.5%
	インダストリー インフラ事業	10,983		38.6%	13,759		42.3%	25.3%
	合計	28,441		100.0%	32,530		100.0%	14.4%
営業利益	ソーシャル インフラ事業	4,059	23.3%	65.8%	4,418	23.5%	56.5%	8.8%
	インダストリー インフラ事業	2,106	19.2%	34.2%	3,399	24.7%	43.5%	61.3%
	小計	6,166	—	100.0%	7,818	—	100.0%	26.8%
	全社・消去	△ 505	—	—	△ 665	—	—	—
	合計	5,661	19.9%	—	7,152	22.0%	—	26.3%

セグメント別計画に対する進捗率

ソーシャルインフラ事業



インダストリーインフラ事業

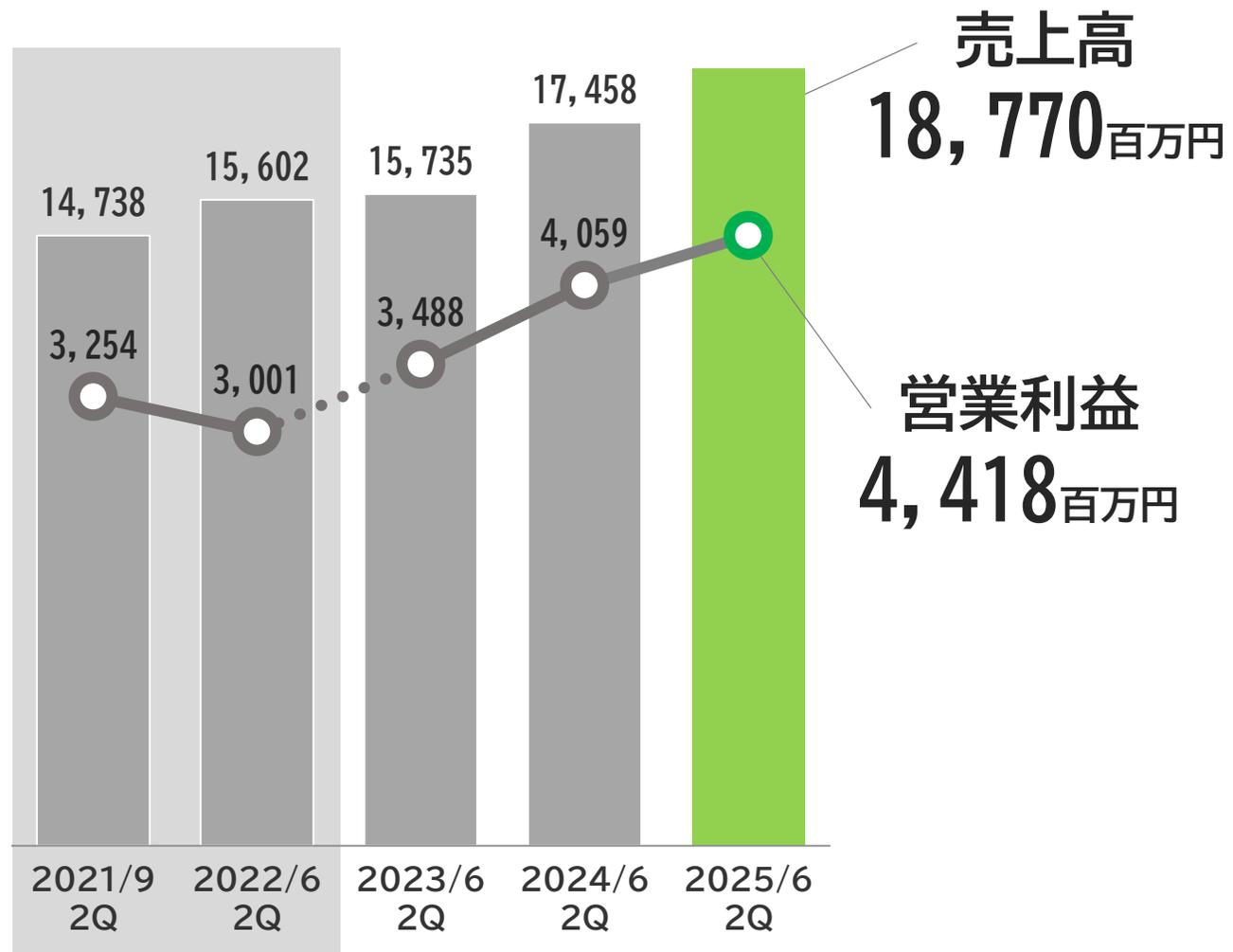


2025年6月期

		修正後計画(通期)			修正後計画(通期)		
		2Q実績	金額		進捗率	2Q実績	金額
ソーシャルインフラ事業	売上高	18,770	35,500	52.9%	4,418	7,200	61.4%
インダストリーインフラ事業		13,759	26,500	51.9%	3,399	6,000	56.7%
全社・消去					△ 665	△ 1,200	—
合計		32,530	62,000	52.5%	7,152	12,000	59.6%



セグメント別業績概況－ソーシャルインフラ事業



プラス要因

- 第1四半期に引続き、主力の公共工事事業において、盛土補強材・河川護岸材が堅調に推移。
- 製造原価の削減、原材料価格高騰に対応した販売価格への転嫁により利益面も順調。
- 子会社事業のうち、獣害対策製品、防衛関係製品は順調で、海外子会社についても安定した受注を確保できた。

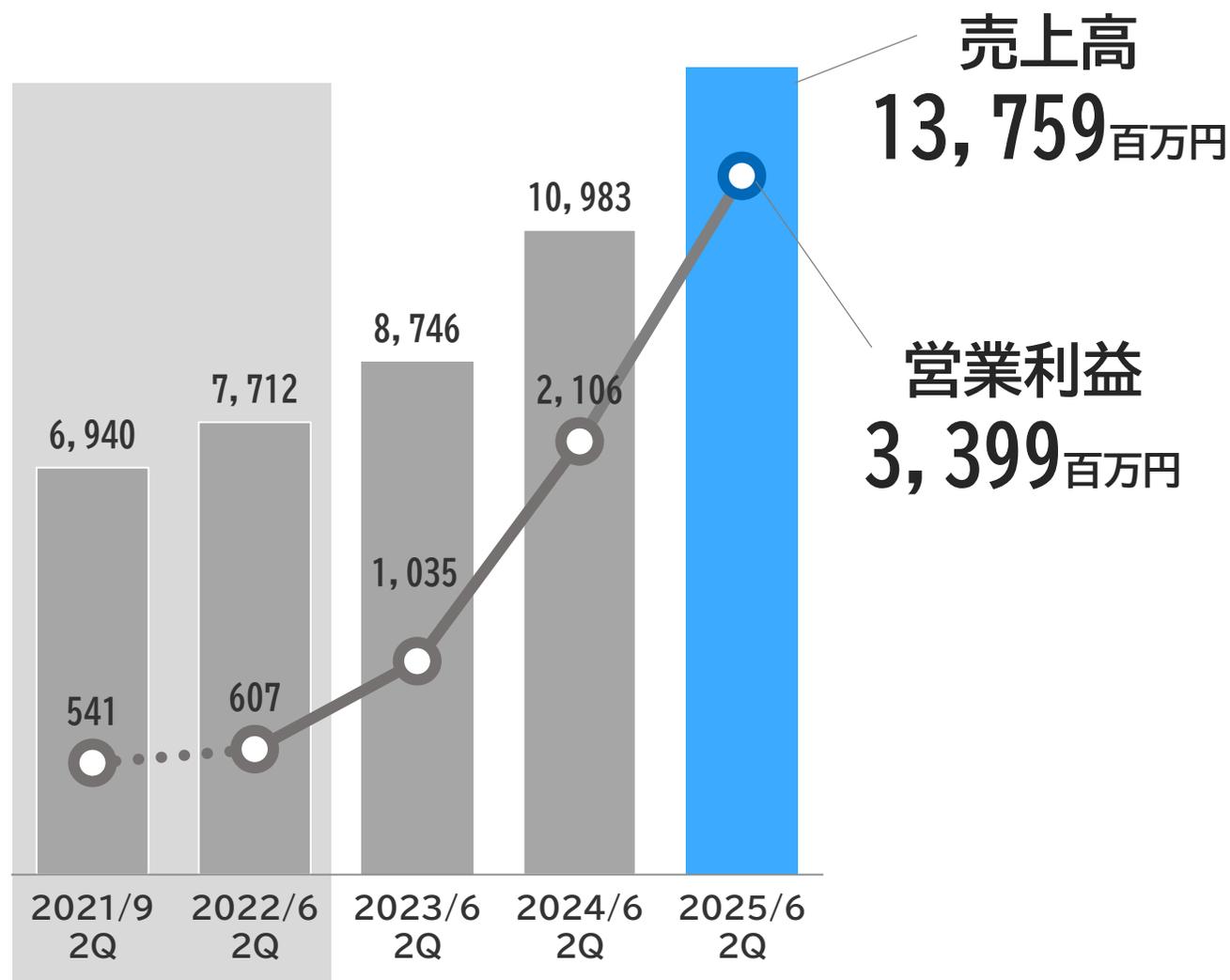
マイナス要因

- 子会社の「未来のアグリ」において、園芸用ハウス、酪農用製品等の農業資材の受注が伸び悩み、計画未達となった。

※2021/9期～2022/6期の第2四半期の業績の期間は12/21～3/20です。



セグメント別業績概況ーインダストリーインフラ事業



プラス要因

- 第1四半期に引続き、BBSジャパンの業績は順調に推移している。
- BBS製造の生産効率化(良品率、工場稼働率の向上)により、利益率が向上した。
- 未来コーセン福井工場では自販・受託とも順調(ワイピングクロス等)で計画達成。

マイナス要因

- 電力料や原材料価格の高騰によるコスト増加の影響があった。(売上好調により業績は回復)

※2021/9期～2022/6期の第2四半期の業績の期間は12/21～3/20です。



3 2025年6月期 通期業績予想

TOPICS – 通期業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 60,000	百万円 11,200	百万円 11,200	百万円 7,700	円 銭 113.24
今回修正予想(B)	62,000	12,000	12,000	8,400	123.45
増減額(B-A)	2,000	800	800	700	—
増減率(%)	3.3	7.1	7.1	9.1	—
(ご参考)前期実績 (2024年6月期)	55,833	10,736	11,236	7,979	127.29

修正の理由

- 公共工事事業が計画を上回る水準で好調に推移
- 自動車ホイール事業など産業資材の販売が堅調に推移



業績予想(連結)

	2024年6月期 実績		2025年6月期			
	2Q	通期	2Q実績		通期計画(修正後)	
			金額	増減率	金額	増減率
売上高	28,441	55,833	32,530	14.4%	62,000	11.0%
営業利益	5,661	10,736	7,152	26.3%	12,000	11.8%
E B I T D A	7,234	14,106	8,800	21.7%	15,300	8.5%
経常利益	5,473	11,236	7,224	32.0%	12,000	6.8%
親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益	3,760	7,979	4,939	31.3%	8,400	5.3%

業績予想(セグメント別)

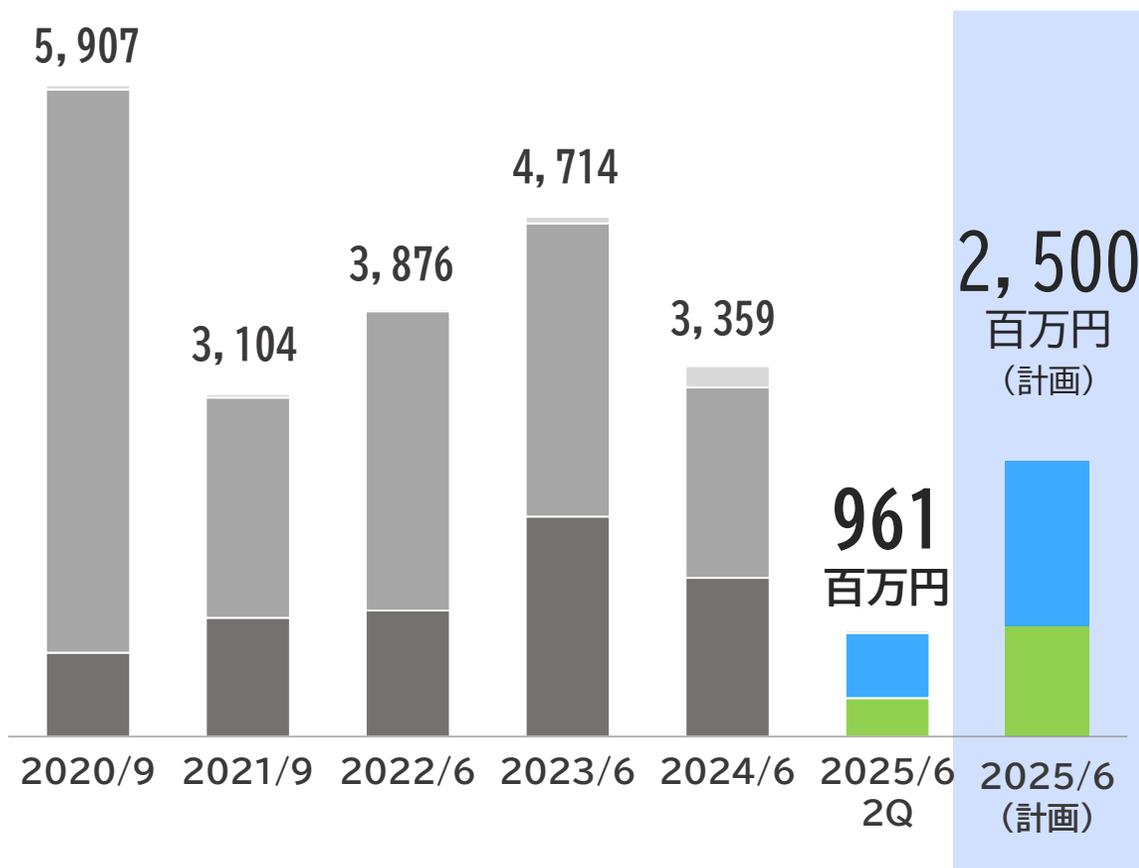
		2024年6月期 通期実績	2025年6月期	
			通期計画(修正後)	増減率
ソーシャル インフラ事業	売上高	31,687	35,500	12.0%
	営業利益	6,755	7,200	6.6%
インダストリー インフラ事業	売上高	24,145	26,500	9.8%
	営業利益	5,101	6,000	17.6%
全社・消去	営業利益	△ 1,120	△ 1,200	—
合計	売上高	55,833	62,000	11.0%
	営業利益	10,736	12,000	11.8%

設備投資額・減価償却費予想

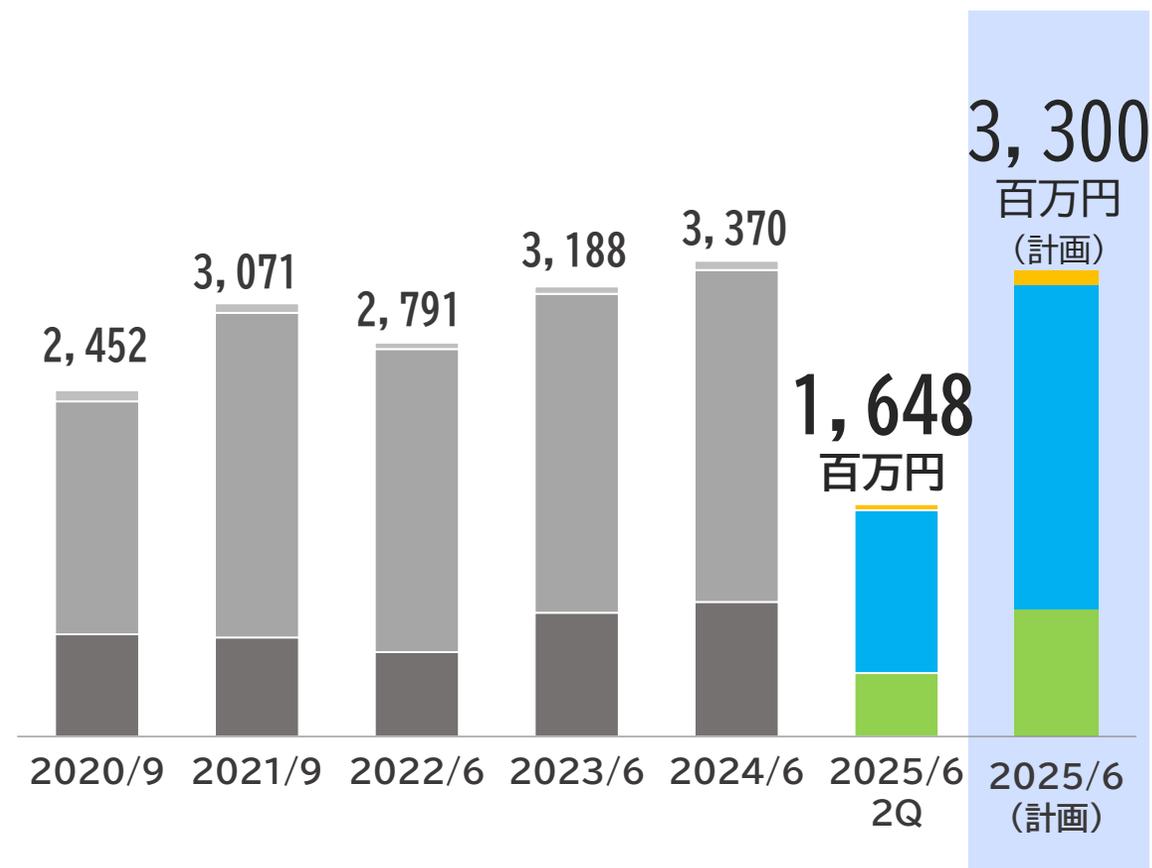
(単位:百万円)

■ ソーシャル
■ インダストリー
■ インフラ事業
■ 全社

設備投資額

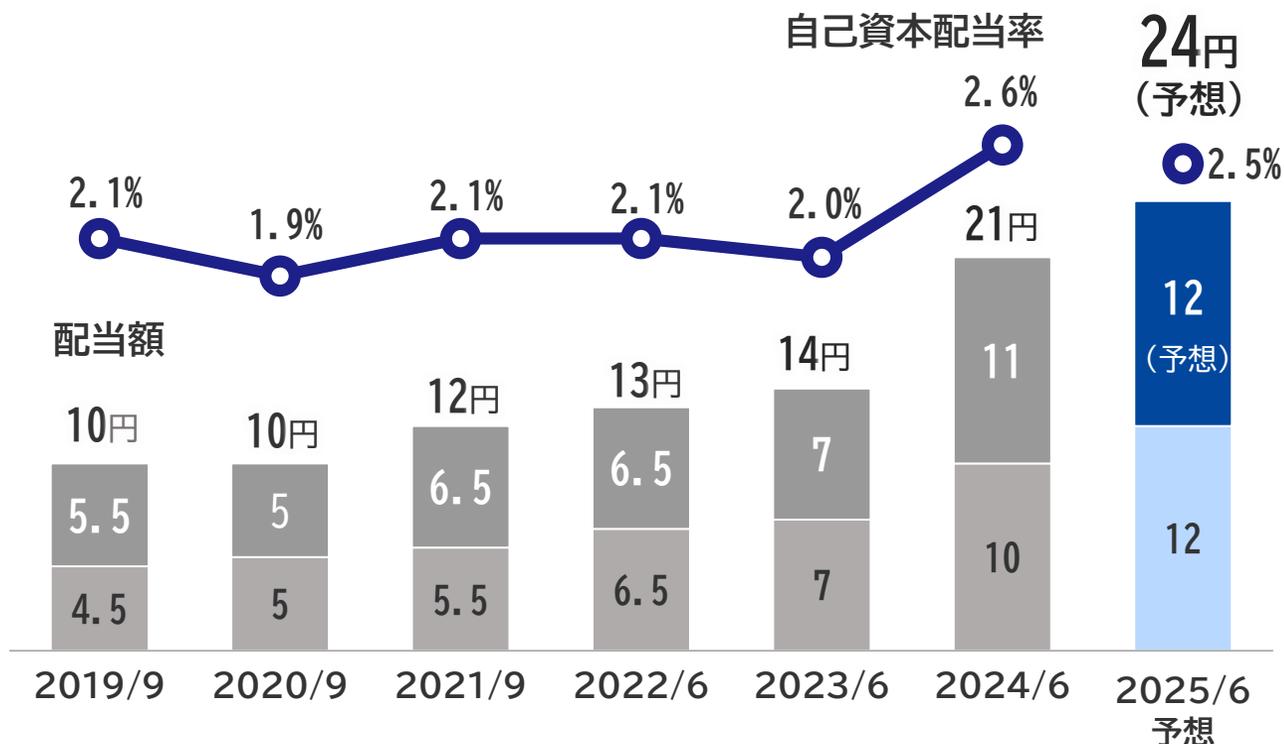


減価償却費



※2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。

TOPICS – 配当予想の修正



2025/6期

中間	12円	(前年比+2円)
期末予想	12円	(前年比+1円)
通期予想	24円	(前年比+3円)

(前回予想比+1円)
(前回予想比+1円)
(前回予想比+2円)

※1 : 2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間となります。
 ※2 : 2025年2月14日付で配当予想を修正しております。

配当に対する考え方

- ・累進配当の継続 上場以来、安定的な累進配当を実施。
- ・剰余金の配当率 (配当性向に加え、長期安定的な目標設定)
DOE(自己資本配当率)を指標とする。



TOPICS – 自己株式の取得

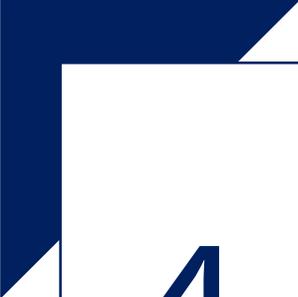
取得の目的

株主還元の充実及び資本効率の向上を図るため。

取得の内容

- | | |
|-------------|--|
| ①取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| ②取得しうる株式の総数 | 100万株(上限) 発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 1.47% |
| ③株式の取得価額の総額 | 20億円(上限) |
| ④自己株式取得の期間 | 2025年2月17日～2025年6月30日 |
| ⑤取得の方法 | 東京証券取引所における市場買付け |

(注)市場動向等により一部または全部の取得が行われない場合があります。

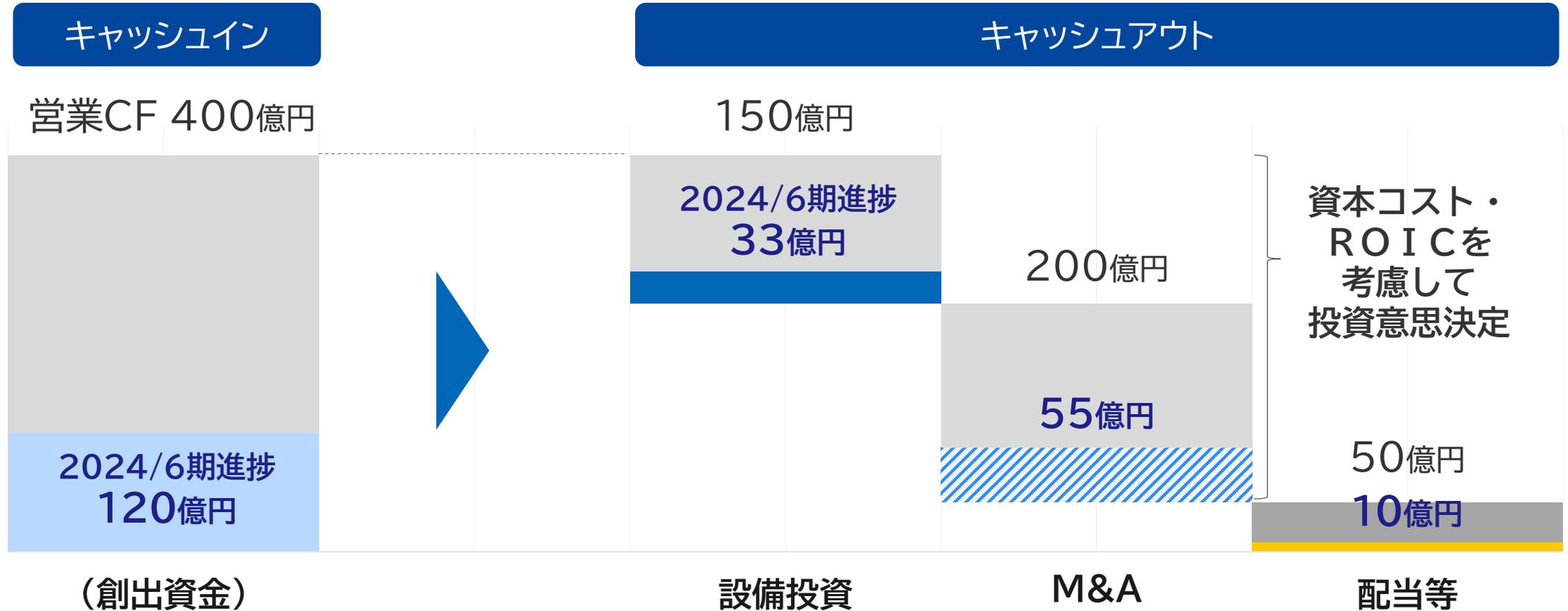


4

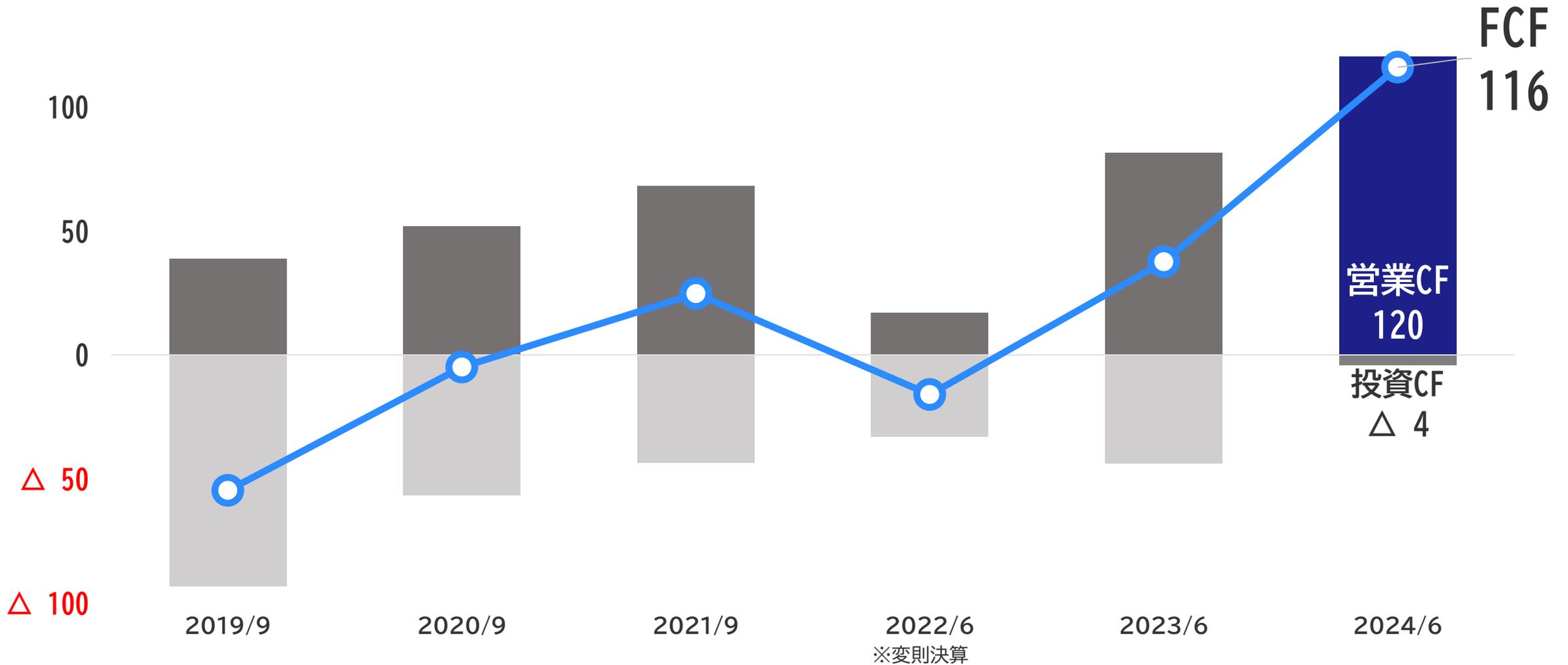
具体的施策とKPI

キャッシュアロケーション

中計PART-II-期間(2024年6月期~2027年6月期)合計額(見込み)に対する進捗



フリーキャッシュフロー(FCF)推移



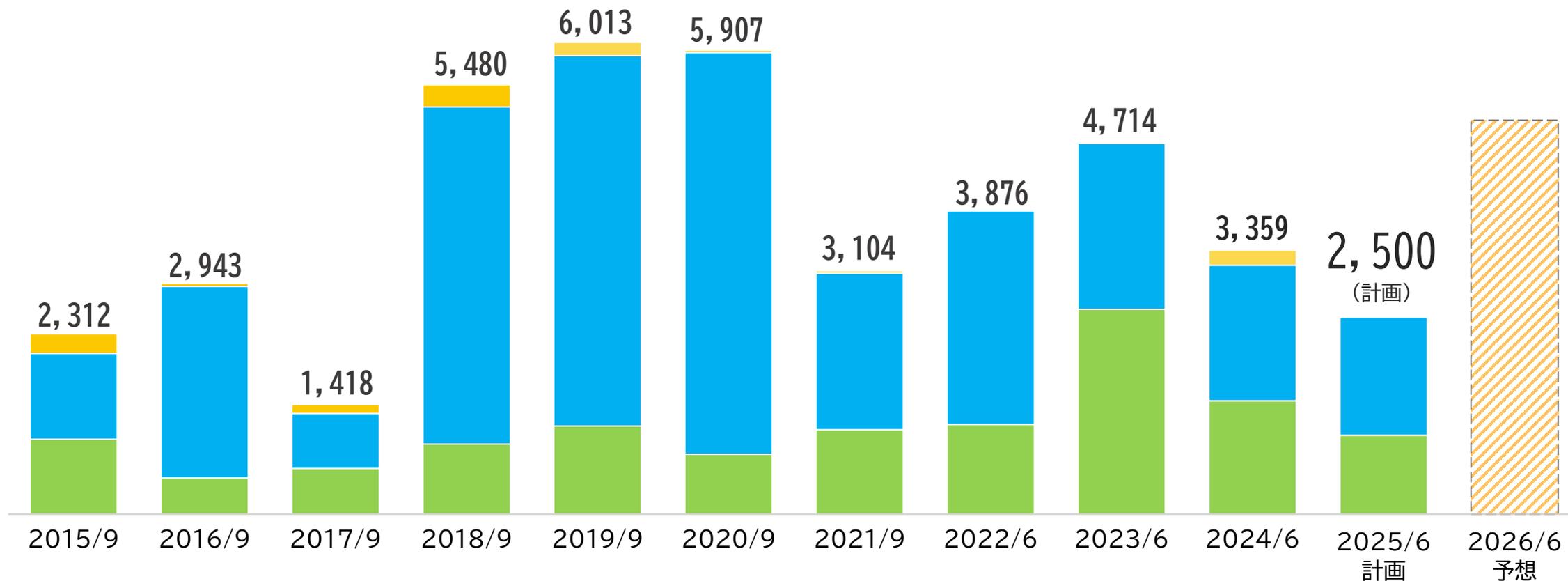
※フリーキャッシュフロー=営業活動によるキャッシュ・フロー-投資活動によるキャッシュ・フロー
※決算期変更の経過期間となるため、2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。

設備投資額推移

(単位:百万円)

■ ソーシャル
インフラ事業 ■ インダストリー
インフラ事業 ■ 全社

今後も積極的な設備投資を実施



※2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間となります。

① 新たな営業管理体制の整備

前田工織グループの新たな営業管理体制→“予材管理”

- 予材管理 …将来の案件を“見える化” 過去の数字ベースから未来の数字ベースに
- 予材は全て社内にオープン **年5%以上の成長を目指せる予材造り**
- 予材が正しく資産化 → **営業の心に余裕と自信、そして将来を読む力**
→さらに意欲的に行動する(好循環が生まれる)
- 予材が蓄積されればされるほど、**安定して営業目標が達成**できる

∴月次進捗と予材状況を確認、

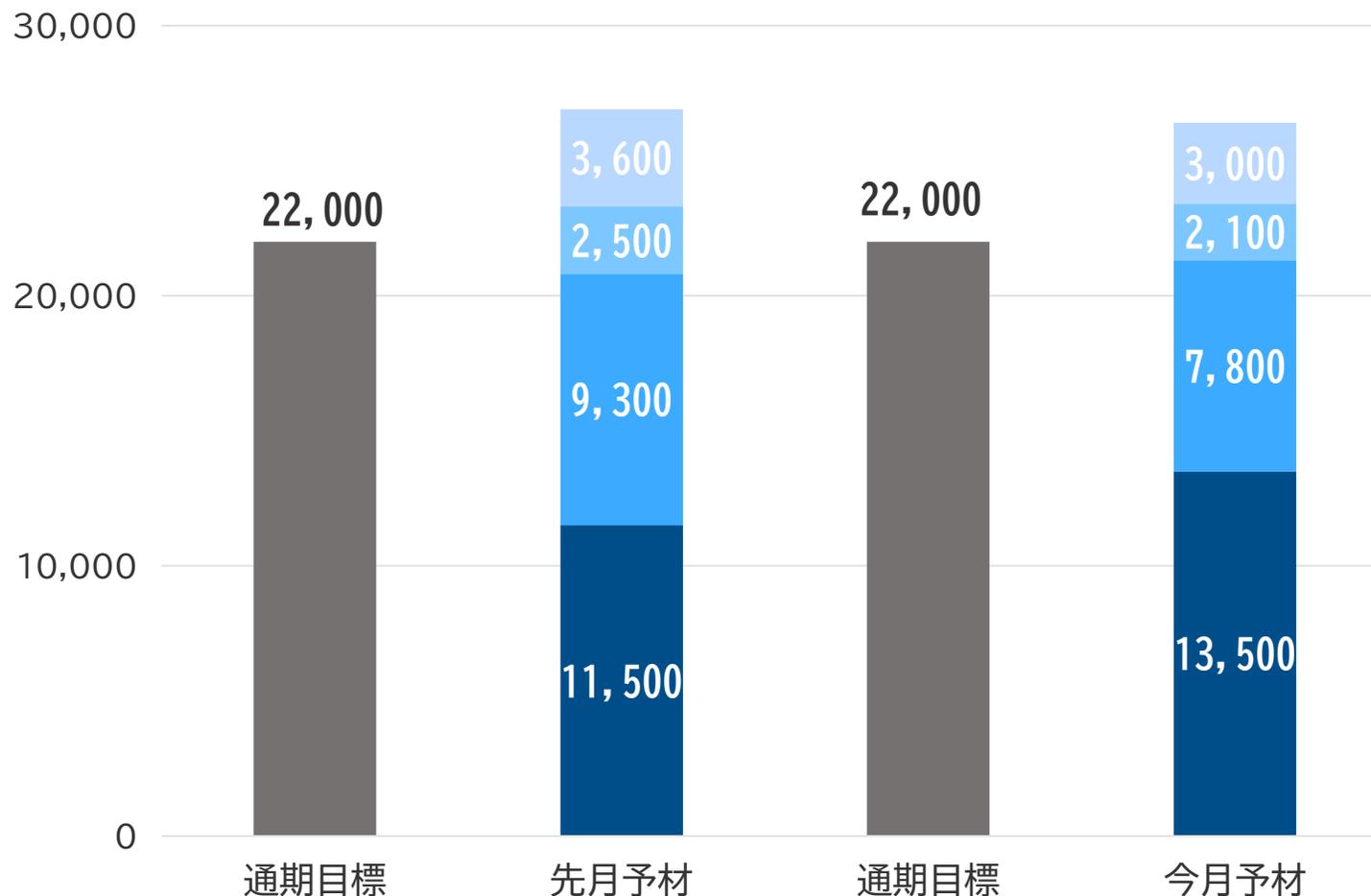
今期も来期も予測し、手を打つ

→ 営業会議の中身も変化 (定量的な議論)

具体的には

○○期 ◇月状況

■目標 ■実績 ■見込 ■仕掛 ■白地



○○期 ◇月状況

目標達成まで8,500百万円

見込 7,800百万円

達成率:91.7%

実績+見込

目標達成率96.8%(先月94.5%)

実績+見込+仕掛

目標達成率106.4%(先月106.0%)

② M&Aの活用

前田工織のM&A

ターゲット

- 最終ユーザーが購入する「モノ」づくりに取り組んでいる会社
- 前田工織グループの販売・開発・製造ネットワークに乗せることで、再成長を可能にできる会社
- 地方で長らく地域経済に貢献してきた会社

前田工織のM&A

検討案件数	年間 300件
うちIM	年間 120件
うち面談、DD	年間 10件

金融機関、
M&Aブティック
からのソーシング



ボトムアップ型
ソーシング

営業・開発部隊が
候補先リスト作成



社長自らが足を運ぶ

DD
(企業調査)

買収



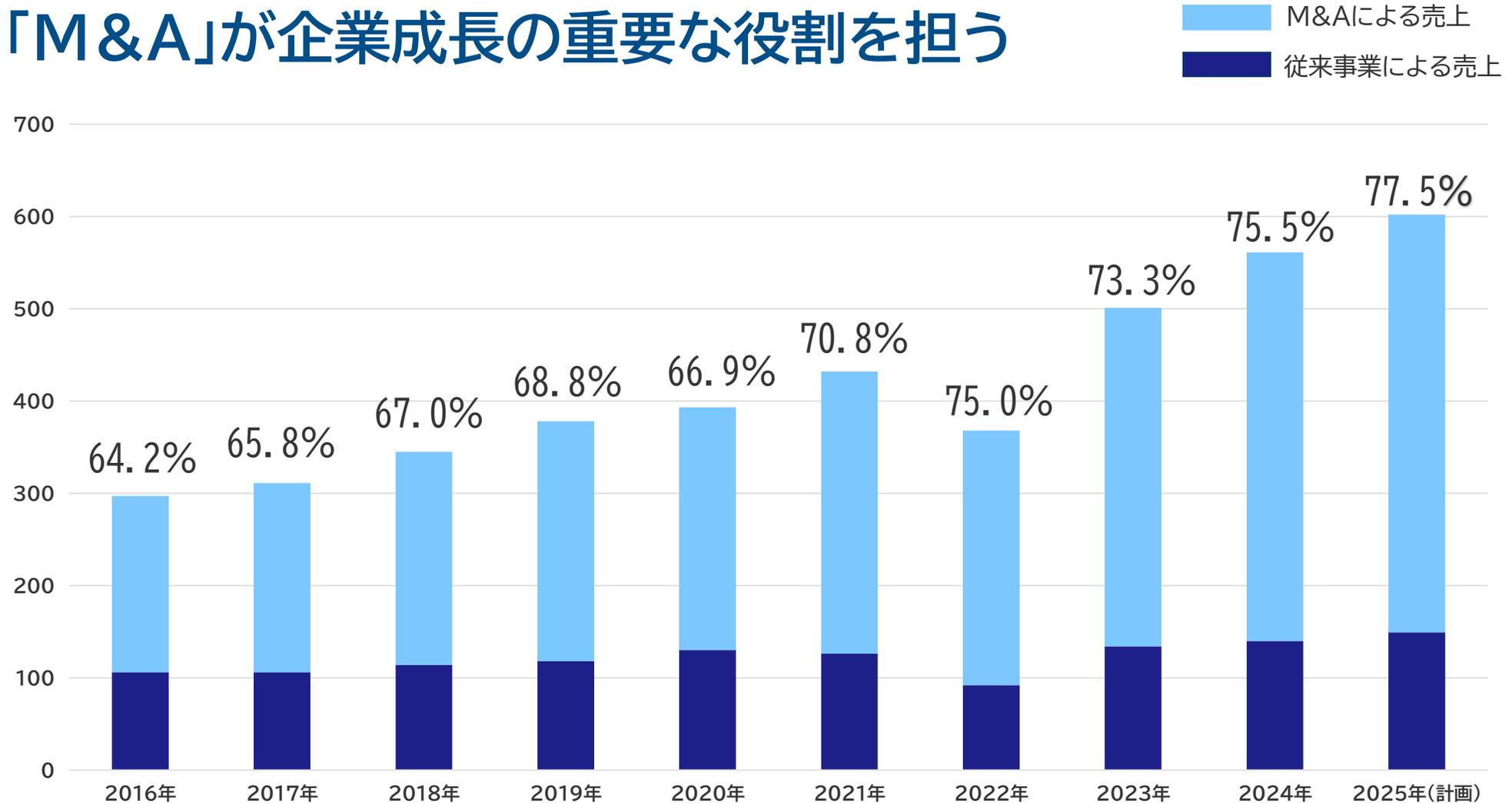
PMI

COO、営業・開発・製造・財務の責任者が実施

グループ経営企画室(社長直轄)が
責任をもって進める

連結売上に占めるM&Aの割合

「M&A」が企業成長の重要な役割を担う



※2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間となります。

③ 人的資本經營

目指すべき姿（戦略）

【目的】

人材を資本と捉えて企業価値の向上を図る。

【背景】

すべての社員が戦力となり、その能力を発揮 ⇒ そのため成長できる職場の整備が重要

【人材育成方針】

グループ全員への教育機会の提供(階層別・部門別・テーマ別の研修の実施)
⇒ 継続的な成長が期待できる仕組みづくり

【社内環境整備方針】

ハラスメント防止対策の強化
女性特有の健康課題に関する研修 ⇒ 多様な人材の個性を尊重する企業文化の醸成

【評価】

KPIを設定し、定量的に評価 ⇒ 評価を反映した報酬

指標及びKPI設定

① ワークエンゲージメントの向上 (全社員を対象としたエンゲージメント調査より)

指標	2027/6目標(単体)	2024/6実績(単体)
総合満足度	70.0点以上	65.4点
評価・処遇	60.0点以上	51.2点
能力開発	65.0点以上	59.7点

② 研修と教育

指標	2025/6目標	2024/6実績
年間平均研修時間	7.6時間/人	2.7時間/人
年間平均研修費用	42千円/人	18千円/人

③ 健康経営の実践 (全社員を対象としたアンケート調査より)

指標	2027/6目標(単体)	2024/6実績(単体)
アブゼンティーイズム	3.0日以下	3.2日
プレゼンティーイズム	15%以下	20%

⇒ 体調不良による平均休業日数

⇒ 体調不良等により、出勤しているが能力発揮できていない割合

④ Job Trial, Job Challenge制度

他部署での業務体験(2日間)・就業(1年超)

目標 年間10名以上利用

MDKグループ中長期ビジョン

5

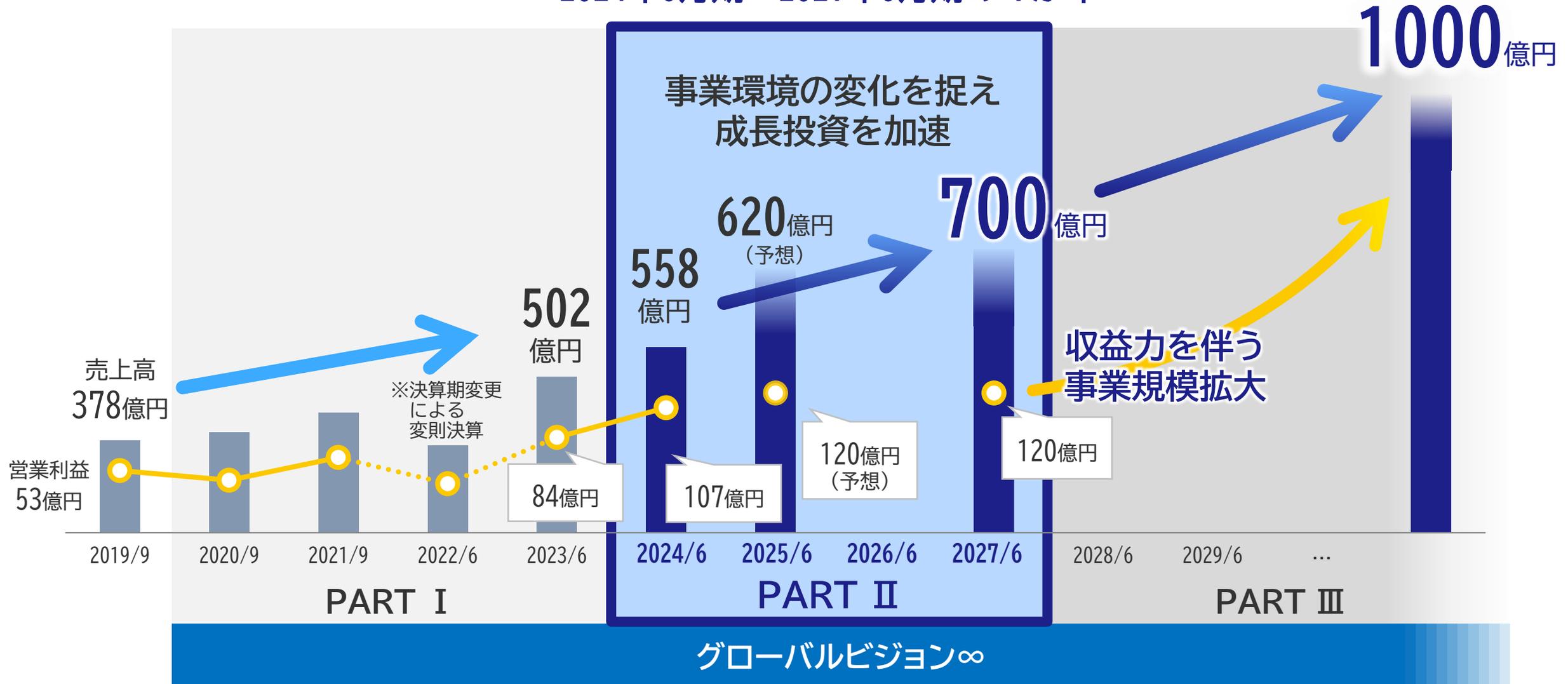
グローバルビジョン∞

- PART II -

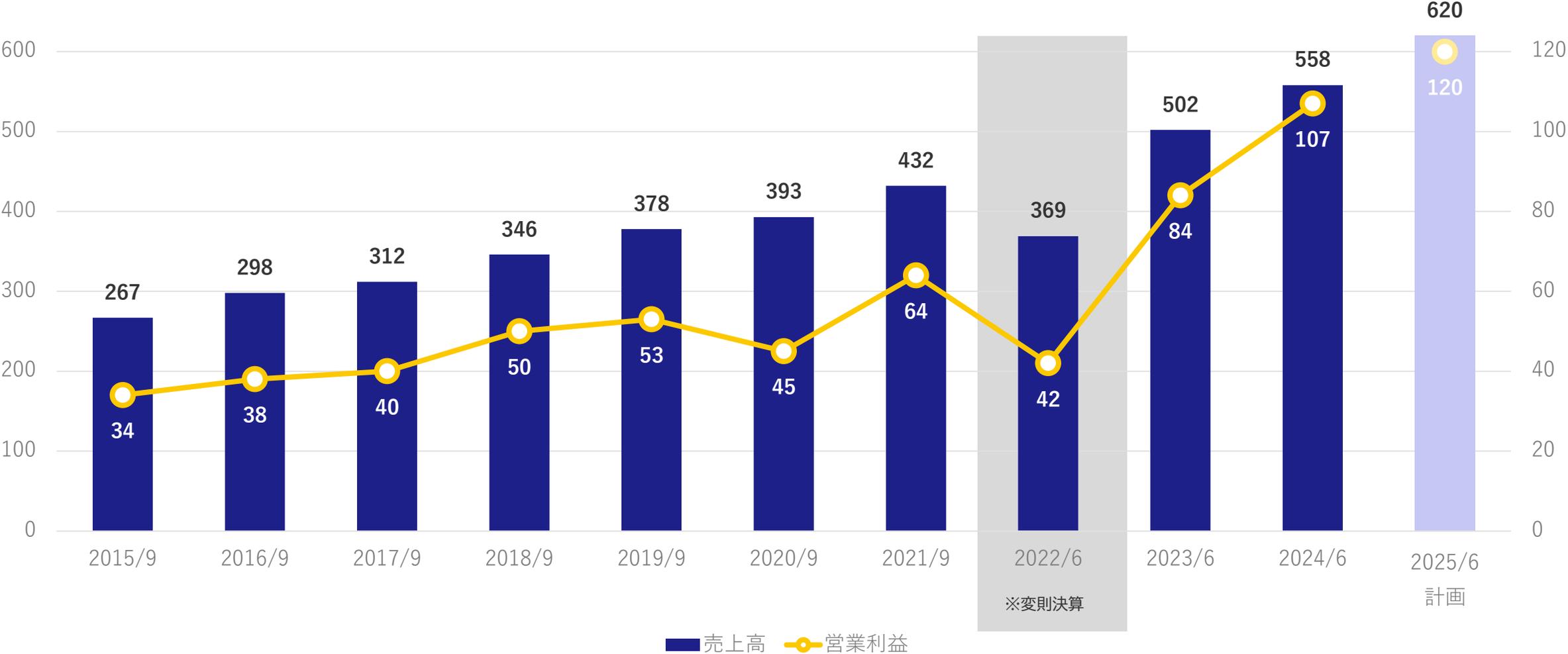
成長目標

PART II

2024年6月期～2027年6月期の4か年



連結業績推移(売上高・営業利益)



※決算期変更の経過期間となるため、2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。

主要戦略

グローバルビジョン∞ 主要戦略(概要)



既存事業の強化と
新規事業進出

設備投資計画 150億円
(4年間合計)



M&A活用による
事業領域拡大

M & A 投資枠 200億円
(4年間合計)



グローバル
ネットワーク拡充

海外売上比率 30%
(2027年度目標)



ESG+H

- 太陽光発電利用拡大
- エンゲージメント強化

数値目標(2024年6月期～2027年6月期)

	2023年6月期 (PART I)実績	2024年6月期 実績	2025年6月期 修正計画	2027年6月期 計画
売上高	502 億円	558 億円	620 億円	700 億円
営業利益	84 億円	107 億円	120 億円	120 億円
EBITDA	116 億円	141 億円	153 億円	150 億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	52 億円	79 億円	84 億円	80 億円
ROE	12.4 %	15.1 %	13.0 %	12 %以上



6

会社概要

企業情報

(2024年12月31日現在)

会社名	前田工織株式会社		
本社	福井本社:福井県坂井市春江町沖布目38-3 東京本社:東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルA館12F		
代表者名	代表取締役会長 前田 征利 代表取締役社長 前田 尚宏		
創業	1918年	設立	1972年
決算	6月30日	資本金	6,422百万円
従業員数	1,571人(役員、嘱託・パート、実習生、派遣を含む)		
発行済株式数	68,080,612株(うち自己株式 15,732株)		
証券コード	7821(東京証券取引所プライム市場)		
単元株数	100株	株主総数	3,764名



福井本社



東京本社



グループ事業内容

ソーシャルインフラ事業

社会のインフラづくり 防災・減災



取扱製品

土木資材、建築資材、各種不織布、外壁用防水・保護・仕上げ材、
獣害対策製品、園芸用ハウス・農業資材、防衛省天幕、装備品、
フィッシュミール・魚油、幼稚園・保育園用備品、遊具 等

インダストリーインフラ事業

産業のインフラづくり 自動車ホイール・産業資材



取扱製品

自動車用高級鍛造ホイール、精密機器製造用ワイピングクロス、
各種繊維の加工、丸編製品等

前田工織グループ

ソーシャルインフラ事業



インダストリーインフラ事業



前田工繊 は **混**ぜる会社です

「人」と「技術」を混ぜる会社です
混ぜると 化学反応が 起きるのです
「イノベーション」は化学反応の「果実」

世界一のイノベーターを目指し
社会のあるべき姿 人間のあるべき姿を
追い求めていきます

企業理念

基本理念

人と人との良いつながりが
すべての基本であり目標です。

経営理念

私たちは 独自の知恵と技術で
持続可能な地球 そして
安心・安全で豊かな社会を創るために
貢献してまいります。

行動理念【MDK五徳】と【仁】

【知行合一】

1. 人も企業も「真っ直ぐ」生きよう。

義

2. 失敗を恐れず、無限[∞]の可能性に挑戦しよう。

勇

3. 現場へ出て、本質を見抜き、本気で変えよう。

信

4. どこにもないモノを、どこにもない方法で、創り出そう。

智

5. 人も企業も学び続けよう。

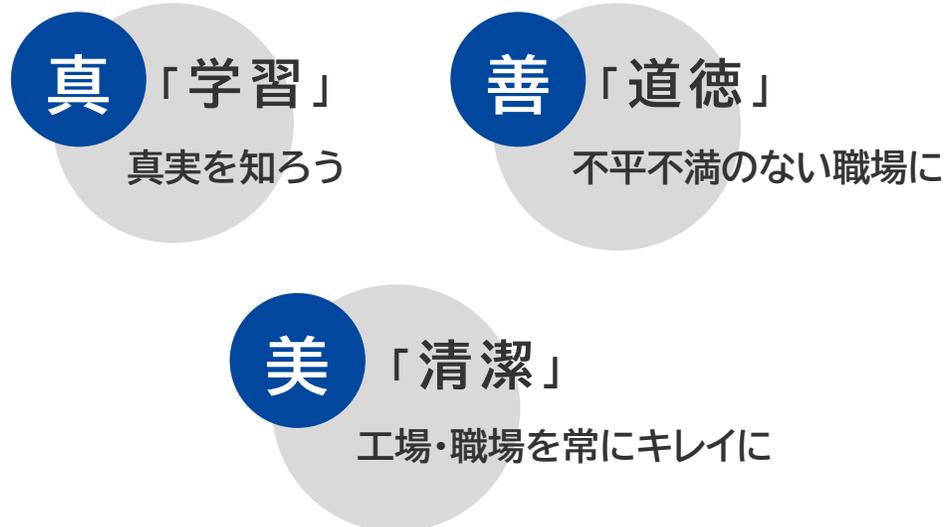
礼



行動指針・判断基準

行動指針

「真・善・美」の整った会社(組織)づくりへ

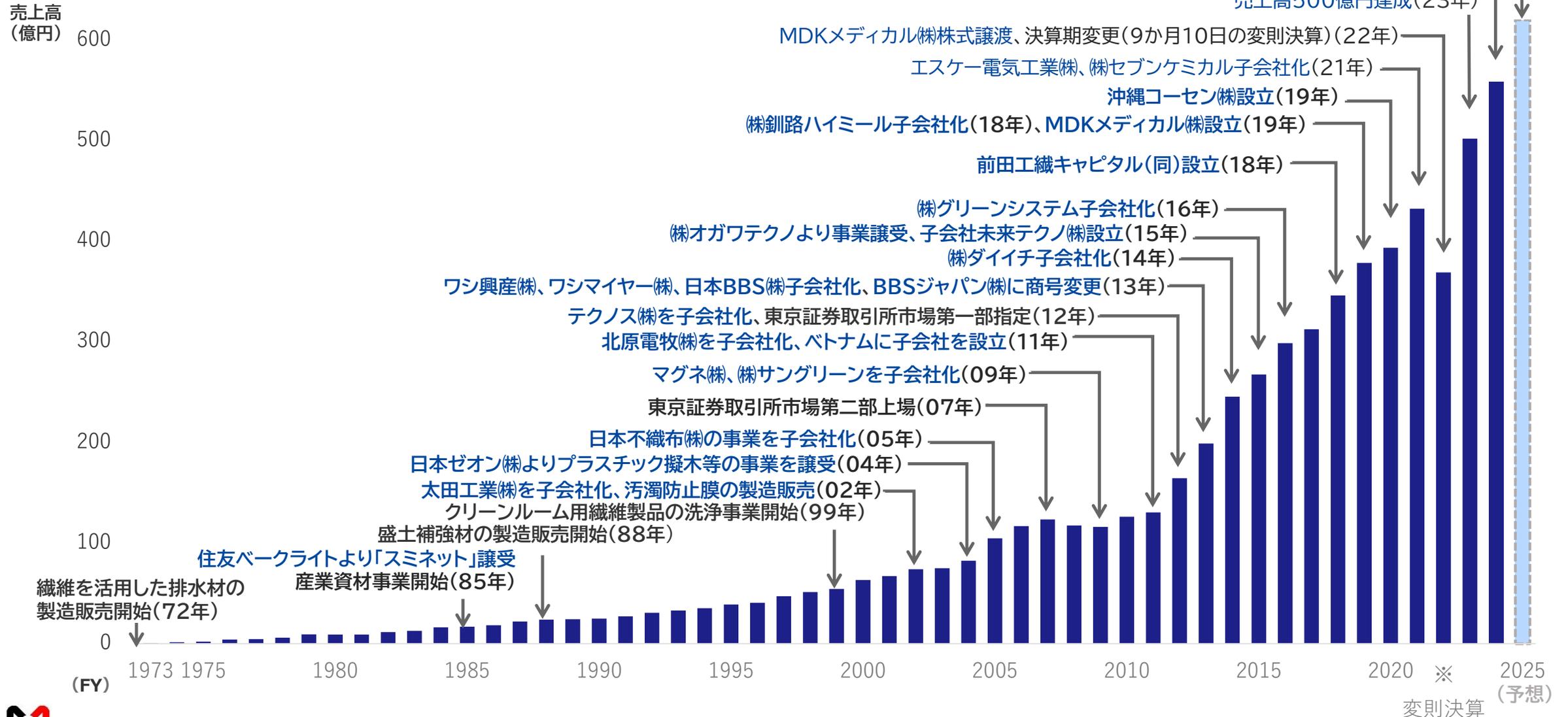


判断基準

「SSLQDC」～ この優先順位で判断・行動しよう ～

- 1 Safety** 人の安全と健康
- 2 Society** 地域社会への貢献
- 3 Law** コンプライアンス・法令順守・環境保全
- 4 Quality** 品質・信頼性
- 5 Delivery** 納期厳守
- 6 Cost** コスト削減

事業沿革と売上高推移



ネットワーク(国内)

前田工織(単体) 事業所:14拠点/工場:5ヶ所

福井県

福井本社・本社工場
丸岡工場
坂井工場

未来コーセン
本社・福井工場
武生工場

北陸(福井除く)

新潟営業所
金沢営業所

BBSジャパン
本社・高岡工場
四日市工場

未来コーセン(株)
金沢工場

中国・四国

広島支店
岡山事務所
四国支店

九州・沖縄

福岡支店
鹿児島事務所

沖縄コーセン

中部・近畿

名古屋支店
大阪支店
西宮工場
能登川工場

犀工房 本社

北海道

札幌支店

未来のアグリ
札幌本社
千歳工場

釧路ハイミール 本社

東北

仙台支店
盛岡営業所

未来テクノ 工場

未来のアグリ 福島本社

関東

東京本社

未来テクノ 東京本社

セブンケミカル
本社
埼玉工場

BBSジャパン 東京本社

前田工織キャピタル合同会社 東京本社



ネットワーク(海外)



BBS Motorsport GmbH
BBSジャパン(株) ドイツ子会社



MAEDA KOSEN VIETNAM CO., LTD.
(前田工織ベトナム有限会社)



本資料お取り扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するにあたっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予想は本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご了承ください。

本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

前田工織株式会社 経営管理本部

TEL:0776-51-9577 / URL:<https://www.maedakosen.jp>